

「視線入力装置を使って朝の会の日直をしよう」(自立活動)

【ねらい】

- 筋緊張の強い生徒が視線で友達や教師とコミュニケーションをとることができるようにする。
- 教員の支援を減らし、生徒主体で朝の会を進行することができるようにする。

【内 容】

- tobii (視線入力装置) を使用して生徒が PowerPoint を操作し、朝の会の進行を行う。
- 筋緊張が強くなってしまったり、PCの不具合があったりした場合は、声掛けや支援を行い、なるべく自分の力でコミュニケーションをとれるように指導している。



車いすの角度は、90~120度。首が落ちてしまうことがあるので、ネッククッションを装着して、視線が安定するように姿勢をつくる。体調に応じて車いすの角度やパソコンの位置を調整する。

【成 果】

- 本人の視線での表出を誰でも確実に読み取ることができるようになった。
- 筋緊張が強くなった時も力を抜こうと深呼吸をして対応する姿が見られるようになった。
- 視線入力装置を使うことで元々できていた発声での表出が積極的になった。
- 今後、朝の会以外でも PowerPoint でコミュニケーションボードを作成し、本人の表出の幅を広げていきたいと考えている。